

- 1 教育事業名 「アジアの架け橋 沖縄スリランカプロジェクト」
～命と平和を未来へ～
- 2 ね ら い 日本〈沖縄〉とスリランカの中学生、そしてそれをリードする両国の大学生チューターが「命と平和を未来へ」のテーマのもと交流することで、スリランカ中学生の日本に対する理解を増進し、また、日本〈沖縄〉の青少年の国際的視野を醸成し次世代リーダーを育成することをねらいとして実施した。
- 3 期 日 平成25年9月12日(木)～21(土) 9泊10日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家 沖縄県立糸満青少年の家
- 5 参加人数 スリランカ招へい生徒 16名 引率4名
大学生チューター（日本4人 スリランカ4人）
日本(沖縄)中学生16名

6 実施プログラム

2013年 9月	9	12	15	18	21
12(木)		成田着11:50		成田発17:55	那覇着20:45 糸満
13(金)	オープニング	松島中学校訪問		ホームステイ	那覇市内
14(土)		ホームステイ			那覇市内
15(日)		乗船	スリランカカレー作り	海洋研修	文化交流会 渡嘉敷
16(月)		平和学習(討議・自決跡地)		観光産業体験	ふりかえり 渡嘉敷
17(火)	役場表敬	乗船	激励	普天間墓地	美ら海水族館
18(水)		平和学習(平和祈念資料館)		糸数塚見学	グループ討議
19(木)		首里城見学	県庁表敬	那覇市内見学	さよならパーティ
20(金)		クロージング		那覇発12:40	成田着15:35
21(土)				成田発13:20	スリランカ着19:10

7 事業の様子



日本の授業を体験



ホストファミリーと道場で稽古



ホームステイ先で
スリランカカレーを作る



沖縄とスリランカの中学生が
協力して4種類のカレー作り



青い海に大興奮



お互いの文化を交流



平和とは何かを語る



スリランカ中学生の話聞く



首里城で歴史を感じる



平和の礎にて過去を知る



平和祈念資料館で学ぶ



糸数壕で平和の祈りを

8 参加者の声

- ・私は自分の事を時間通りに1人でできる方法を学んだ。そしてチームワークのことと他の人を助けることを学んだ。少し難しかったが自分なりに頑張る。(スリランカ男子)
- ・世の中をきれいにすること、私の人生をきれいにすることを学んだ。私の心が良くないと私の人生もきれいじゃない。(スリランカ女子)
- ・これから困っている外国の方がいれば声をかけたい。(沖縄中学生男子)
- ・交流をとおして言葉の壁があっても仲良くなれることがわかったので、自分から積極的にコミュニケーションをとっていききたいと思う。また「平和と命」について考えたり感じたりしたことをどんどん発信していきたい。(沖縄大学生女子)

9 担当者所見

《成果》

- ・環境・平和・歴史・生活の4つのテーマに沿ったプログラムを経験することで、スリランカ中学生に、実感を持ちながら日本に対する興味を増進させることができた。スリランカ中学生は日本が平和な国だと感じ、住む国がちがっても望む平和な生活は同じであるという共通認識を持つことができた。沖縄からの参加者は最近まで内戦があったスリランカの話聞き日本の平和を再確認するとともに、もっとコミュニケーションがとりたいと学ぶ意欲を持つことができた。

《課題》

- ・両国の中学生によるディスカッションにおいて沖縄中学生の積極的な発言が少なく感じられた。次年度は事業の目的等をしっかり理解してから参加できるよう事前学習会を計画したい。